

はしがき

今日の日本は、より成熟した共生の社会へと変貌しつつあります。民族や性別、年齢、障害の有無を超えて、人々が等しく心豊かな生活が送れる福祉社会に向かって進んでいます。国においても年金、医療、保険、保育といった問題にどのように適切に対応していくかということが21世紀初頭における大きな課題となっています。その意味で、これらの分野における情報や話題が急速に増えており、私たち一人ひとりにおいても、国内外のこれらの情報を正しく捉え、活用することが大切だといえるでしょう。

本書は、最近の英字新聞や雑誌の記事を参考に、長年日本の大学で教鞭をとっている外国人教授によって書き下ろされた英文を軸として構成されています。日本人の福祉への意識や考え方、ITやハイテク技術の活用、福祉の仕事に従事する人々の労働条件、諸外国の実状、NGOやボランティアのあり方など、幅広い話題を取り出し、大学や短大の学生にとって興味ある、しかも役立つような内容について集めています。より読みやすく、理解しやすくなるように配慮し、この分野でよく使用される英語表現を含む日常会話や用語、さらにその話題について考える手助けになるような多様な設問を設けました。いわばオールラウンドなコミュニケーション能力が身につくように工夫しました。特に各ユニットの会話については、その話題にふさわしい臨場感あふれる効果音の入ったCDが付属しており、講義中はもちろんのこと各自が自由に練習できるように配慮されています。

この本の作成にかかわって痛感したことは、これらの英文それぞれの底に流れるものは、相手の立場に立った人間としての温かい思いであり、ヒューマニズムの精神でありました。物質的豊かさのなかで心の貧しさが話題になる今日、これらの各ユニットの英文を通して英語力を養い、それぞれの課題について理解を深めるとともに人間としての自らの生き方を考える機会になれば幸いです。

平成13年10月10日 著者